

## 「知っておきたい 乳がん検診最新情報」を開催しました



平成23年12月17日、香川県放射線技師会のみなさんと高松市保健センターの保健師さんを講師に迎え、「知っておきたい 乳がん検診最新情報」を開催しました。

講座の最初は、マンモグラフィー検診についての話でした。マンモグラフィー検診とは、乳房をプラスチックの板にはさんでX線撮影する検査です。視触診ではわからない小さなしこりも見つけることができます。マンモグラフィー検診では①乳房の組織がよく見えるようにする②乳房を薄くすると、X線をあびる量が少なくてすむという理由で乳房を平らにして検査をします。ただ、検診中痛みを感じるので、肩の力を抜いてリラックスすることが大切です。検査結果はカテゴリーの分類として5段階で判定されます。カテゴリー3～5は「乳がんの疑いがある」の判定なので精密検査が必要になるそうです。

次に、乳がん検診の精密検査や放射線治療についての話をしてくださいました。乳がんの疑いがあるとされた場合、細胞診や組織診を行います。その後、乳がんだと確定された場合、CTやMRIを使って詳しく調べ、薬物療法や手術によって治療をしていきます。「乳がんは発見が早ければ完治の可能性が高く、乳房を温存した治療もできます。早期発見すれば、乳がんは決して怖い病気ではありません。早期発見のためにも、みなさん乳がんの検診を受けてください。」とおっしゃっていました。

最後に、高松市の乳がん検診のしくみについて話してくださいました。保健師さんは「高松市の乳がん検診には①乳がん個別検診②乳がん無料クーポン券検診③乳がん集団検診があります。乳がんは女性にできるがんでは一番多く、日本人の約20人に1人が乳がんになっています。特に30歳代後半から急激に増え始め、40歳後半にピークになります。40歳以上で偶数年齢の女性に、2年に1度個別検診受診券を送っているの、忘れず検診に行きましょう！」とおっしゃっていました。

日本人女性に最も多く見られるがん“乳がん”ですが、早期発見早期治療で治ることが分かりました。

